

平成29年における農作物等の被害状況等について

2月の降雪や7月の梅雨前線豪雨、7月以降に襲来した台風の影響等により被害が発生している。

1. 水稲では、7月の梅雨前線豪雨により九州地方や東北地方を中心に風水害が発生した。なお、10月15日現在の水稲作況指数は全国で「100」となっている（10月31日、農林水産省大臣官房統計部公表）。
2. 家畜では、死傷事故及び病傷事故の発生状況は例年並みとなっている。
3. 果樹では、5月～6月の降雪により、東日本を中心にりんご及びなし等の幼果に損傷等の被害が発生した。7月の梅雨前線豪雨により、福岡県を中心に、なし及びかき等の樹園地に土砂流入・園地の流出等の被害が発生した。また、9月の台風18号及び10月の台風21号等の影響により、かんきつ類に枝折れ・傷果、りんごに落果・傷果被害が生じている。
4. 畑作物では、9月の台風18号及び10月の台風21号等による大雨・強風の影響により、大豆に冠水・流失・茎葉損傷等の被害が発生した他、沖縄県のさとうきびに倒伏等の被害が発生している。
5. 園芸施設では、2月の大雪により近畿地方や東北地方を中心に特定園芸施設等が倒壊する被害が発生した。7月以降に襲来した台風により、全国的に特定園芸施設等に風害、風水害等の被害が発生した。なお、今後、冬季の雪害の状況等を注視していく必要がある。